



大和地区福祉委員会第5次地区福祉計画



地区の特徴

川西市の北東部に位置し、昭和40年代前半から戸建て住宅を中心に開発された、閑静な住宅地です。

能勢電鉄畦野駅、山下駅、笹部駅があるほか、地域の西側には国道173号線、新名神高速道路の川西インターチェンジがあり、地域内には阪急バスが循環するなど交通条件に恵まれています。

豊かな緑や自然にも恵まれ、落ち着いた生活環境です。地域活動が活発で、盆踊り、三世代交流福祉まつり、文化祭、夢ナリエ、とんど大会など四季折々イベントでにぎわっています。また、各丁ごとの活動も公園を利用したイベントや会館を利用した交流会などを実施しています。

開発から約50年が経過し、高齢化が進んでいましたが若い世代の転入等により、高齢化率が減少に転じるとともに年少率が増加しており、今後もその傾向が続くと思われます。

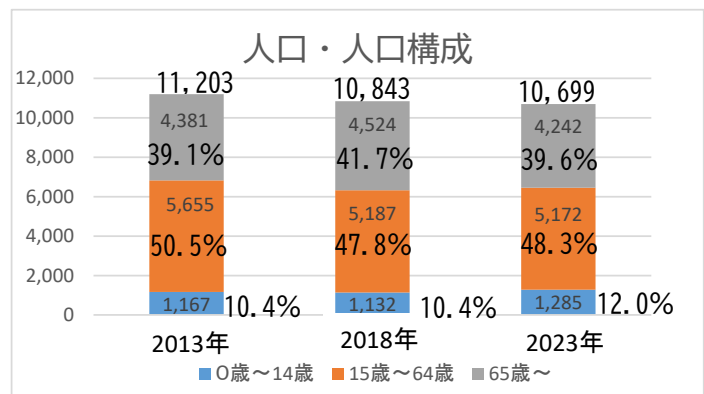
大和地区の人口、世帯数、年代別推移

年		2013	2018	2023
世帯数		4,732	4,788	4,833
人口		11,203	10,843	10,699
人口	0歳～14歳	1,167	1,132	1,285
	15歳～64歳	5,655	5,187	5,172
	65歳～	4,381	4,524	4,242
人口割合	0歳～14歳	10.4%	10.4%	12.0%
	15歳～64歳	50.5%	47.8%	48.3%
	65歳～	39.1%	41.7%	39.6%

各年3月末日現在

出典：2013年は、第2次大和地区福祉計画

2018年・2023年は、川西市地域福祉課のデータを基に作成



大和地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは
→ [コチラ](#)



かわナビは
→ [コチラ](#)



福祉目標

向こう三軒両隣 つながりあう福祉のまち 大和

地区の重点事業

重点
1

福祉活動を担う人材の確保と育成

重点
2

誰もが参加できる居場所づくり

重点
3

誰もが安心して住み続けられることができる支援の充実

重点
4

笑顔があふれる子育て支援の充実

重点
5

地域活動の情報の共有・発信

大和地区福祉委員会のキャラクター だいふくちゃん

福祉委員会活動を親しみやすくするため、平成30年（2018年）10月に地区内で公募し、三世代交流福祉まつりで参加者の投票により決定しました。



大和地区福祉委員会のイメージカラー ピンク

ピンクは、気持ちを和ませ、リラックスさせてくれる色で、「幸福感」や「安心感」のイメージがあるといわれています。

広報紙等の印刷物やイベント時ののぼりに使用しています。

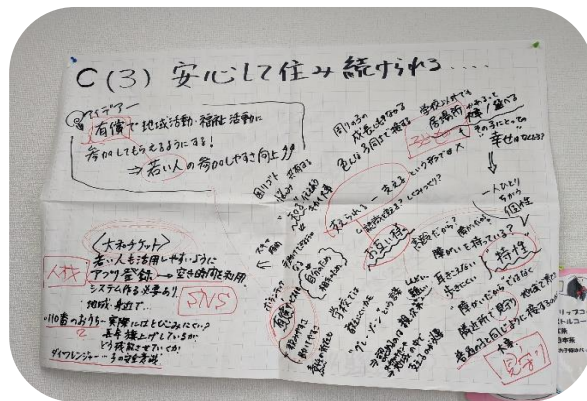
地区別ワークショップでの意見 2023年7月

- ◆次世代の地域活動の担い手づくり
- ◆特技や趣味を地域の中で発揮できる場づくり
- ◆無関心層に響く企画の実施
- ◆だれでも運営にも参加できるカフェ、飲食とおしゃべりができる場所づくり
- ◆多世代の交流の場ともなり、いつでも誰かがいるような居場所づくり
- ◆気軽に利用できる移動手段や安全な歩道整備
- ◆認知症になってもサポートを得られて住み続けられる地域づくり
- ◆障がい者について知る機会と交流する機会づくり
- ◆公園を活用した交流の機会づくり
- ◆地域の人が子どもを見守り、親を支えていく仕組みづくり
- ◆子どもが地域に愛着を持てるような取り組み等

第4次地区福祉計画からの課題 (2018年度～2023年度)

- ◆地域活動・ボランティア活動の担い手確保と育成
- ◆川西市社会福祉協議会と地区福祉委員活動の住民へのSNSを利用した情報発信
- ◆すべての世代が交流することができる居場所づくりと運営
- ◆増加するひとり暮らしの高齢者の把握と見守り
- ◆超高齢化に対応する移動手段の確保
- ◆若い世代の転入が多いことから子育て支援の充実
- ◆研修などを通じた福祉委員のサポート
- ◆川西市社会福祉協議会会員会費の啓発等による自主財源の確保

大和福祉ネットワーク会議の様子



現在の地区の取り組み

交流・通いの場・相談等

三世代交流福祉まつり
地域イベント参加（盆踊り・とんど大会・大和〜ルドマルシェ）
三世代交流カフェひだまりサロン（毎週月曜日）
マリーゴールドカフェ15（毎月15日）
いきいき百歳体操（毎週月曜日）
福祉相談（随時）
手話教室（毎月第1金曜日）
車いすの貸出
車いす体験教室
手作り作品募集・販売
牧の台みどりこども園の支援

啓発・財源

川西市社会福祉協議会会員会費募集
赤い羽根共同募金
フードドライブ

小地域活動(14地区)

子育て支援
音楽会
食事会
ラジオ体操
大和サロンの管理・運営



情報発信

大和ふくしだよりの発行
大和News掲載

見守り

民生委員・児童委員、主任児童委員との連携
一人暮らし高齢者等の見守り
寝たきり高齢者家族への激励訪問

地域団体等の連携

牧の台コミュニティ協議会
大和自治会
だいわチケット実行会
大和交通検討委員会
大和福祉ネットワーク会議
大和オレンジの会
東谷ブロック連絡会



ひだまりサロン
みんなで歌いましょう



手作り作品販売



三世代交流福祉まつり



手話ってなあに



いきいき百歳体操



車いす体験教室



小地域活動 音楽会



小地域活動 子育て支援



アルツハイマー月間 オレンジの花写真展



重点
1

福祉活動を担う人材の確保と育成



目 的

地域における福祉活動を維持し、充実していくためには、福祉委員、民生委員・児童委員、ボランティア等の身近な人の連携が必要です。これらの人の高齢化が進んでおり、次世代の人材を確保するとともに育成に取り組みます。

具体的取り組み

◆福祉委員会活動を広く住民にPRします。

- ①「大和ふくしだより」を発行し、全戸配布するとともにSNS（LINE・インスタグラム）を通じて発信します。
- ②地域のイベントに参加する時には、「大和地区福祉委員会（川西市社会福祉協議会）」の看板やのぼりを掲出するとともにユニフォーム等を着用します。
- ③地域住民に福祉委員会活動の理解を深め、川西市社会福祉協議会会員会費の啓発など自主財源の確保に努めます。

◆あらゆる世代の地域活動参加を促進します。

- ①幅広い年齢層（定年後の世代、若い世代、学生、障がい者等）が少しの時間をボランティア活動に参加できるきっかけ作り（具体的に何をして欲しいかを明確にする。若い世代は土・日の活動。SNSでの発信）や有償ボランティアの仕組みを検討します。
- ②地域の特技を持った人の情報を収集し、地域活動への参加を促します。

◆福祉委員が活動しやすい環境を整えます。

- ①川西市や川西市社会福祉協議会が実施する講演会や福祉委員会が開催する協議の場で課題を共有し、その課題等をテーマにした福祉委員の研修を充実します。



重点
2

誰もが参加できる居場所づくり

目 的

大和地域は、自治会館・牧の台会館・大和サロン・野波邸などで高齢者、子どもや親の交流の場を設けています。一人暮らしの高齢者や若い世代の転入者が増加している中で、世代を越えた交流ができる居場所づくりが求められていることから、新たな居場所づくりと事業内容の見直しを進めていきます。

具体的取り組み

◆誰もが参加できる居場所づくりを進めます。

- ①関係機関・関係団体と連携して、小地域での交流の場を充実（既存の施設のほか事業所、介護施設、空き家の活用等の検討）するとともに、資源mapを作成するなど情報を提供します。
- ②一人暮らしの高齢者や子育て世代、小中学生などあらゆる層が集える事業を実施するとともに、運営に携わるボランティアの確保に努めます。
- ③要支援者（障がい者、孤立している人、ヤングケアラー等）に対する支援を検討します。



重点 3

誰もが安心して住み続けられることができる支援の充実

目的

誰もが、住み慣れた地域で、安心して、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう取り組みます。

具体的取り組み

◆支える側と支えられる側に分かれるのではなく、住民それぞれが役割を持ち、支えあいながら、自分らしく活躍できる環境を整えます。

①健康寿命を伸ばす活動を自ら行うことを促進するとともに、関係機関と連携しながら講座などを開催します。

②誰もが支える側と支えられる側になるような仕組みを作ります。

③地域共生社会*1が構築できるように、関係機関・関係団体との連携を拡大します。

④「だいわチケット実行会」等と連携して、高齢者等の見守りや生活支援の充実を図ります。

◆支援が必要な人に対して見守りや声かけの体制を充実します。

①福祉委員や民生委員・児童委員等が情報を共有しながら、一人暮らしの高齢者や障がい者等の見守りを充実します。

②認知症の見守り協力者を拡大するため、認知症の理解を深める講座を開催するとともに、キャラバンメイト活動*2を支援します。また、地区内の事業所と連携して見守りにつなげます。

③川西市の「行方不明者SOSネット」への登録を促進します。

④日頃の散歩や公園での交流を通じて、見守り活動につなげていきます。また、災害時における要支援者の安否確認等に協力します。

⑤判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者が安心して地域で生活でき、権利が守られ、必要な援助が受けられる成年後見制度の周知を図ります。

◆移動手段の確保と利用しやすい環境の整備に取り組みます。

①坂が多く、駅や買い物施設等からの移動が困難になっています。また、高齢者の運転免許証返納の増加が見込まれることから、地域内のバスの確保と利便性を向上するため、バス利用を促進します。

②歩道の安全確保と段差解消などのバリアフリー化を働きかけます。

*1 制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会

*2 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る応援者「認知症サポーター」の養成講座を企画・開催し講師を務めます。



重点 4

笑顔があふれる子育て支援の充実

目的

子育て支援については、地域内で多様な事業を実施しています。若い世代の転入者が増加する中で、親がつながり、子どもたちが心豊かに、のびのびと生活することができる環境づくりに取り組みます。

具体的取り組み

◆参加しやすい子育て支援活動を推進します。

①牧の台みどりこども園等と協議しながら、就園前の子育てを支援します。

②地域内で実施している子育て支援事業をネットワーク化し、分かりやすく情報を提供するとともに若い世代のつながりを促進します。

③高齢者と若い世代との交流の機会を作るため、三世代交流福祉まつりを継続して実施します。

◆子どもの安全と安心を守ります。

①登下校時には、お互いが挨拶を交わす「あいさつ運動」を推進します。

②地域の公園が利用しやすい環境整備（利用者による草抜き等）を働きかけます。



目 的

地域では、福祉委員会をはじめ様々な団体が活動しています。これらの活動の情報を共有できるように活動団体の連携に取り組めます。

具体的取り組み

◆大和福祉ネットワーク会議等を開催し、情報交換や地域の課題を明らかにして、その解決に努めます。

- ①「大和福祉ネットワーク会議」を開催し、行政や川西市社会福祉協議会とともに地域とつながりのある団体、事業者等と意見交換をしながら、より良い地域づくりに努めます。
- ②福祉活動について、地域内の事業所に情報提供を行うとともに、事業への参画を促進します。
- ③学校・保護者・自治会・コミュニティ協議会等の連携体制を強化します。
- ④学校の児童・生徒に対する、「車いす体験教室」や「認知症の理解教育」等を支援します。

◆地域の相談窓口を充実します。

- ①カフェ等居場所に参加したときに気軽に相談できる環境を作るとともに、相談内容によって、適切な機関を紹介する体制を整えます。

◆福祉委員や住民を対象にした「福祉講座」を開催します。

- ①行政や川西市社会福祉協議会・福祉委員会が実施する福祉に関するイベントや講座を紹介し、福祉意識の向上に努めます。

策定経過



令和5年	3月29日	第4次大和地区福祉計画評価委員会
	7月12日	大和福祉ネットワーク会議（第1回）
	11月15日	大和福祉ネットワーク会議（第2回）
	12月14日	策定委員会
	12月19日	策定委員会
令和6年	1月10日	策定委員会
	1月17日	理事会
	1月31日	福祉委員会
	2月 7日	策定委員会
	2月21日	大和福祉ネットワーク会議（第3回）
	3月 6日	策定委員会



令和5年7月12日 大和福祉ネットワーク会議

（策定委員）

岩井 健 野中健一 山本沙貴子 三木一子 飯野洋子 後藤哲雄 岩崎志摩子
今西美知子 植田淑子 塚谷由美子 今井俱子 宮本美奈子（社協） 濱田真帆（社協）

大和地区福祉委員会事業一覧表

1 福祉活動を担う人材の確保と育成

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
「大和ふくしだより」発行	継続	福祉委員会活動を掲載 年3回発行
SNS（LINE・インスタグラム）の発信	新規	環境を構築して随時発信
地域のイベントへの参加	継続	盆踊り、とんど大会等
ユニフォーム等を着用	新規	ユニフォームの製作
川西市社会福祉協議会会員費募集	継続	会員増加の方法を検討し、実施
ボランティア登録	拡充	随時（時間・内容等を明示） 特技を持った人の発掘の仕組みを検討
有償ボランティアの検討	新規	調査・検討
福祉委員研修	継続	随時

2 誰もが参加できる居場所づくり

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
三世代交流カフェ「ひだまりサロン」の運営	継続	毎週月曜日
「マリーゴールドカフェ15」の運営	継続	月1回（毎月15日）
「大和サロン」の運営	継続	小地域活動の拠点として活用
小地域活動推進	継続	随時（14地区での活動）
資源map作成	新規	地域活動拠点・介護施設等地域資源のmapを作成
要支援者支援	継続	要支援者の情報収集・支援の検討

3 誰もが安心して住み続けられる支援の充実

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
健康寿命を伸ばす講座の開催	継続	年1回
地域共生社会構築の働きかけ	継続	随時
「だいわチケット実行会等」との連携	継続	随時
一人暮らしの高齢者や障がい者等の見守りの充実	継続	随時
寝たきり高齢者世帯家族への激励訪問	継続	年1回
認知症の理解を深めるための講座開催	継続	年1回
キャラバンメイト活動の支援	継続	随時
川西市「行方不明者SOSネット」登録促進	継続	随時
災害時要支援者の安否確認等協力	継続	大和地区防災会と連携
成年後見制度PR事業	継続	随時
移動手段の確保（バス利用の促進）	継続	随時
車いすの貸出し	継続	随時
手話教室の開催	継続	月1回

4 笑顔があふれる子育て支援の充実

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
牧の台みどりこども園等との連携	継続	子育て支援の充実
子育て支援事業の情報提供	継続	随時
三世代交流福祉まつりの実施	継続	年1回
あいさつ運動	継続	随時
利用しやすい公園の環境整備の働きかけ	継続	随時

5 地域活動の情報の共有・発信

事業名	区分	内容、回数、定期開催の場合は曜日
大和福祉ネットワーク会議の開催	継続	年3回
地域内の事業所に情報提供及び参加促進	継続	随時
地域活動団体等との連携強化	継続	随時
「車いす体験教室」や「認知症の理解教育」の実施	継続	随時
相談窓口の充実	継続	月1回から随時へ
住民を対象にした福祉講座の実施	継続	随時
東谷ブロック連絡会	継続	年3回